

やりがい、いきがい。たかがい！～成熟社会を創る看護力～ たかがい恵美子のマンスリー活動報告

参議院議員 高階恵美子事務所

東京都千代田区永田町2-1-1

参議院議員会館714号室

TEL 03-6550-0714 Fax 03-6551-0714

<http://www.takagai-emiko.net>

参議院本会議にて代表質問（11月2日）

11月2日、野田内閣総理大臣の所信表明演説等に対する代表質問に立ち、総理の政治姿勢を問いただすとともに、人口政策、復興政策の課題に関して、現政権にしっかりと認識頂き、遅きに失することなく取組みを進めてほしいとの思いを込めて、質問しました。

【総理の政治姿勢】

東日本大震災は、国民に深い傷を与え、社会に説明しがたい動揺と変化をもたらしていると考えられます。自殺、児童虐待など、命の危機を受け止めるとともに、どのような方針で臨むのか質問しました。

【人口政策】

わが国の総人口は今後7割程度まで減少し、中でも生産年齢の減少がすすむということを念頭に置いた、新たな‘成熟社会づくり’を、今この時期に推し進めなければなりません。総理が人口問題をどう捉え、どう対応するのか表明するよう求めました。

その上で、地域の子育て拠点の強化・拡充、母体の保護と女性の健康づくり、出産を巡る環境改善、最期まで穏やかに過ごせる環境整備の必要性を提起し、ライフステージを通じた必要な施策の取組みへの決意を求めました。

また、7月に政府において「税と社会保障の一体改革案」がとりまとめられましたが、増税の議論が先行していることについて、まずは新たな社会保障体系の具体像を示すべきであると問いただしました。

【復興政策】

現政権の復興政策が遅すぎ、未だに被災者の生活再建の見通しが立っていないことは憂慮すべき事態です。復興予算を早期に執行し、実効性の高い施策を実現すべきです。第3次補正予算の年度内執行を確約するよう求めました。

また、復興庁及び被災自治体の職員の確保の見通し及びその対策について、被災地の小規模事業の支援について、社会保障の担い手の確保とその労働環境の改善に対する方針について質問しました。



代表質問の様子は「たかがい恵美子チャンネル」よりご覧になれます。

<http://www.youtube.com/user/TakagaiEmiko>

「かあさんの家」視察（宮崎県）

11月3日、宮崎県にある「かあさんの家」2か所（曾師及び月見が丘）を視察させていただきました。

「かあさんの家」は、最期まで住み慣れた地域、家に近い環境で暮らせることを目指して作られたホームホスピスで、先駆的な看取りの取組みの一つです。施設は住宅街の中にある民家で、我が家に帰ってきたような家庭的な雰囲気を感じさせてくれました。それは何より入居者を温かく見守る家族のようなスタッフの存在が大きいのでしょう。このような家庭的な雰囲気の中で最期を看取することができる環境整備が全国で進むよう、取り組んでまいります。

「ふるさと対話集会」（宮城県、青森県）

自民党では「ふるさと対話集会」を全国各地で開催し、自民党国会議員が地域の方々の「なまごえ」を聞かせて頂いています。10月17日に宮城県、11月6日に青森県を訪問させて頂き、参加者が日々の暮らしの中で感じている声を直接お伺いすることができました。頂戴したご意見の一つ一つを胸に刻み、暮らしを守るための政策実現のために、これからも誠心誠意努めてまいります。

「たかがい恵美子 Official Web Site」リニューアル！

双方向の情報交流を目指して、‘メッセージボックス’、‘ご当地ナース情報’等のページを設けました。ご意見、メッセージ、情報提供等、どうぞ奮ってご投稿ください。